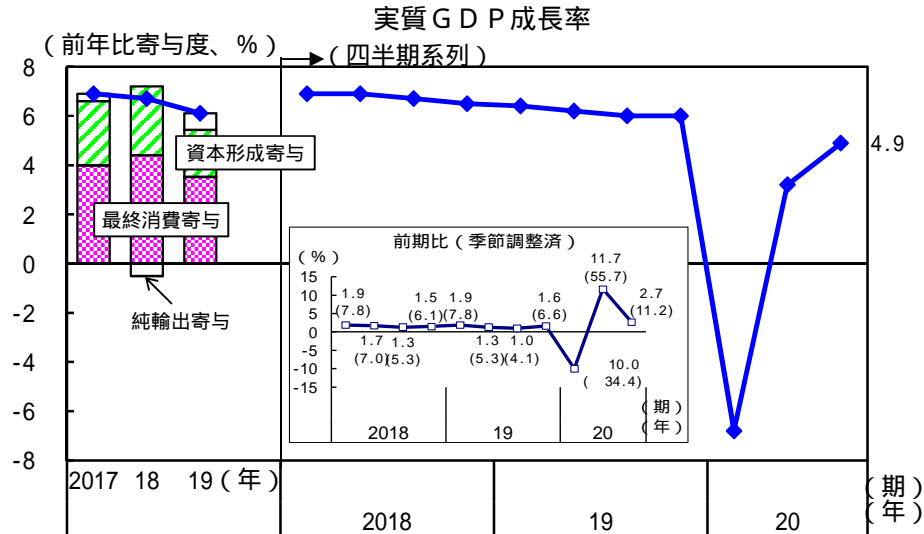


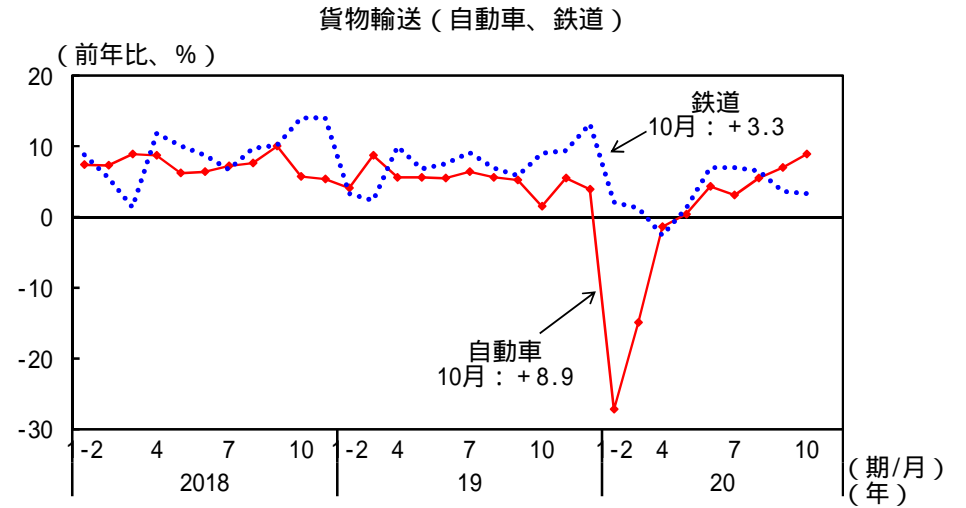
2. アジア地域

中国：

中国では、景気は持ち直している。

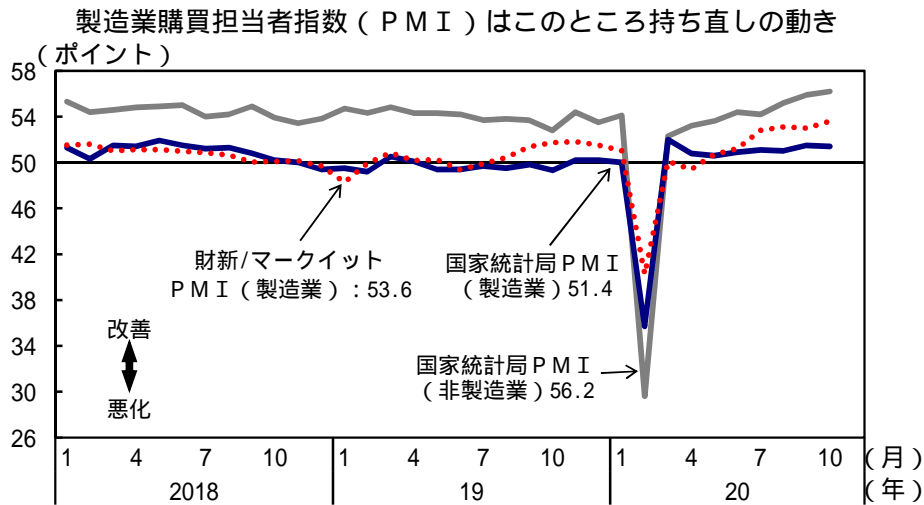


(備考) 前期比のグラフの () 内の数値は内閣府による年率換算。

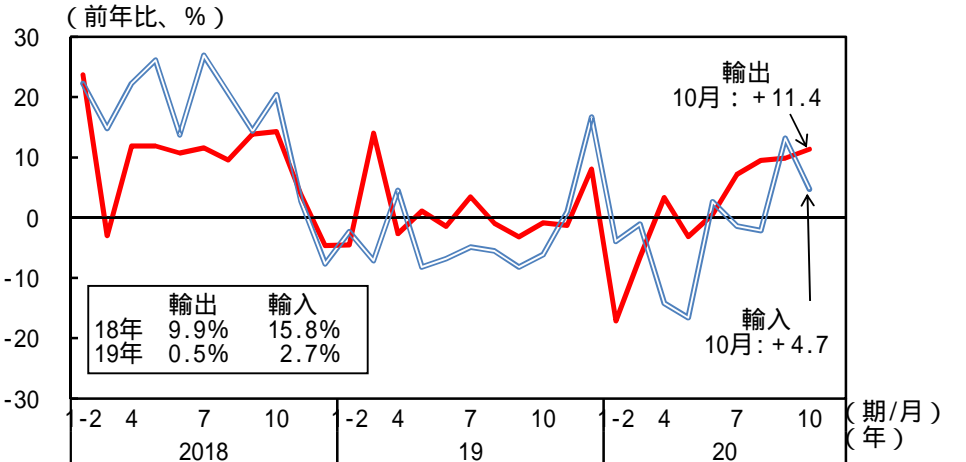


(備考) 1. 輸送量ベースの前年比。
2. 自動車輸送量の18年12月の伸びは未公表のため、当局発表の累計の伸びを基に内閣府試算。

輸出は増加している

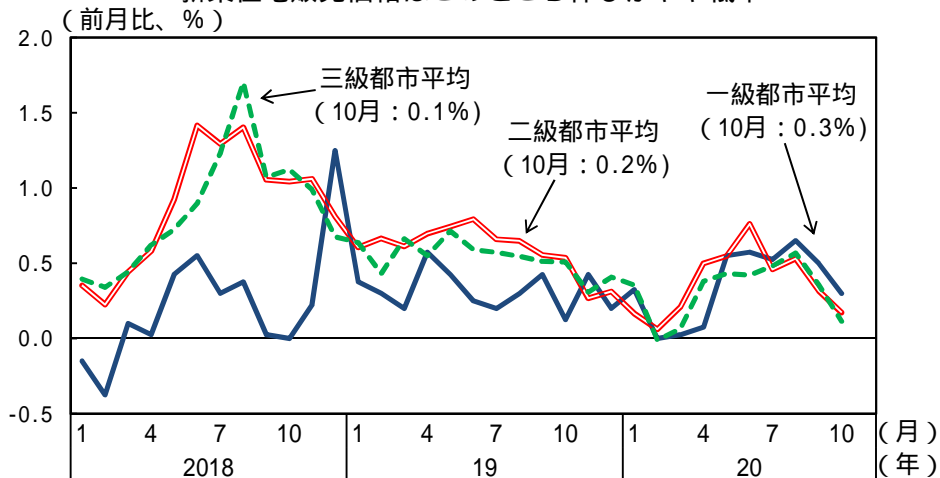


(備考) 1. 国家統計局、財新/マークイットより作成。財新は中国の経済メディアであり、マークイット社との共同調査により、独自にPMIを発表している。
2. 製造業・非製造業の業況に関わる各項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計。
3. 統計対象社数は、国家統計局が3,000社(製造業)、4,000社(非製造業)、財新/マークイットが500社以上。



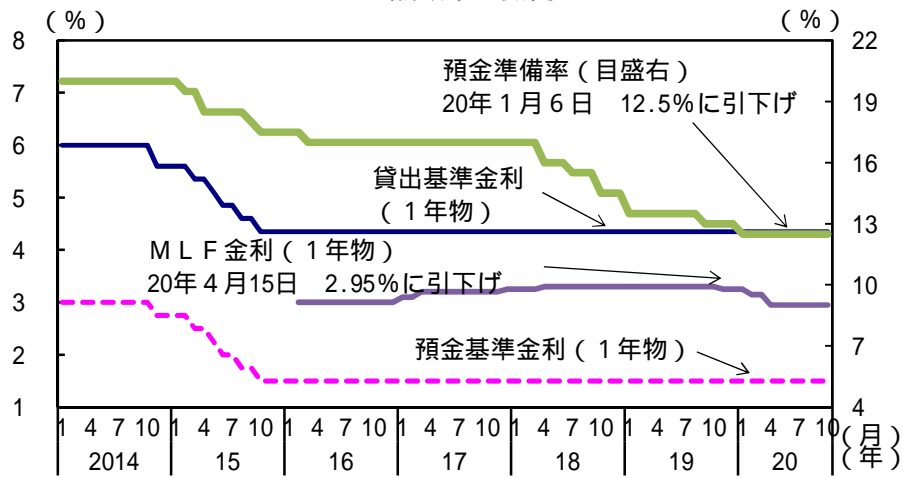
(備考) 1. 輸出入ともドルベースの金額。
2. 春節(旧正月)休暇は、18年2月15~21日、19年2月4~10日、20年1月24~2月2日。

新築住宅販売価格はこのところ伸びがやや低下



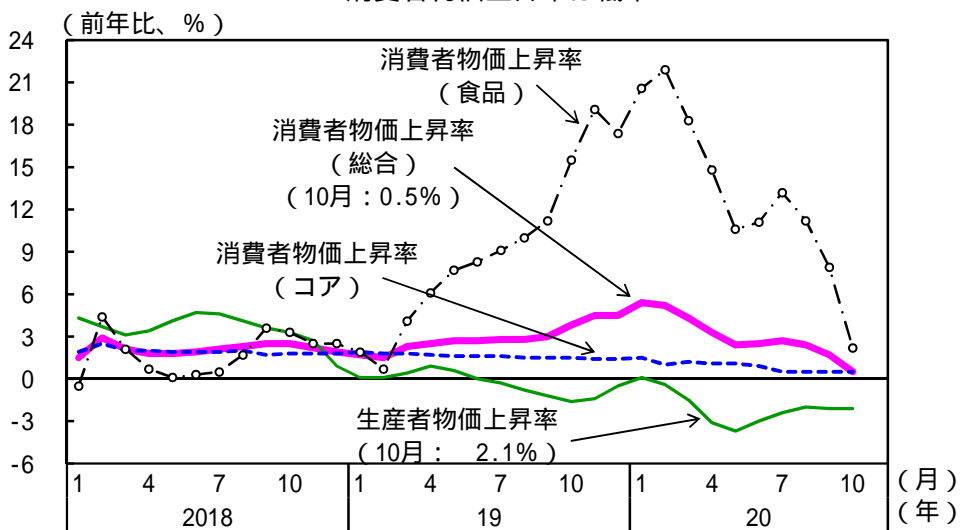
(備考) 一級、二級、三級都市平均は、該当する都市の価格指数の単純平均。

金融政策の動向



- (備考) 1. 預金準備率は、大手金融機関向けの預金準備率。
 2. MLFとは中期貸出ファシリティの略。中央銀行から金融機関への資金供給手段の一つ。1年物は16年より実施。
 3. 小企業・農家等に対する融資が一定割合以上の条件を満たした金融機関の預金準備率を18年1月25日以降引き下げた(0.5%ポイントまたは1.5%ポイント)。

消費者物価上昇率は低下



(備考) コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。

人民元名目為替レート

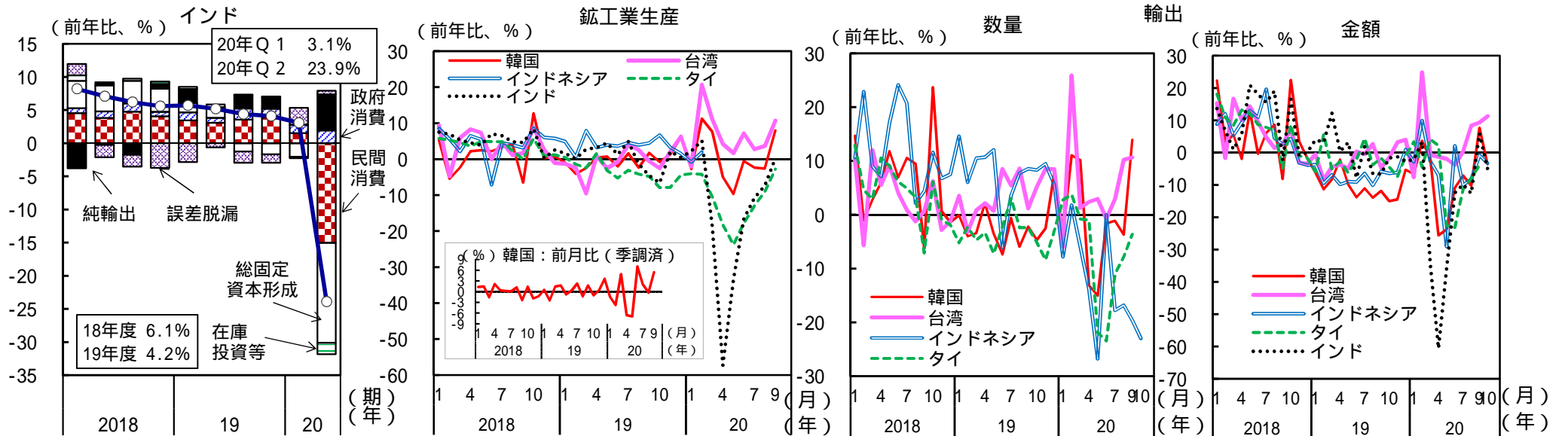
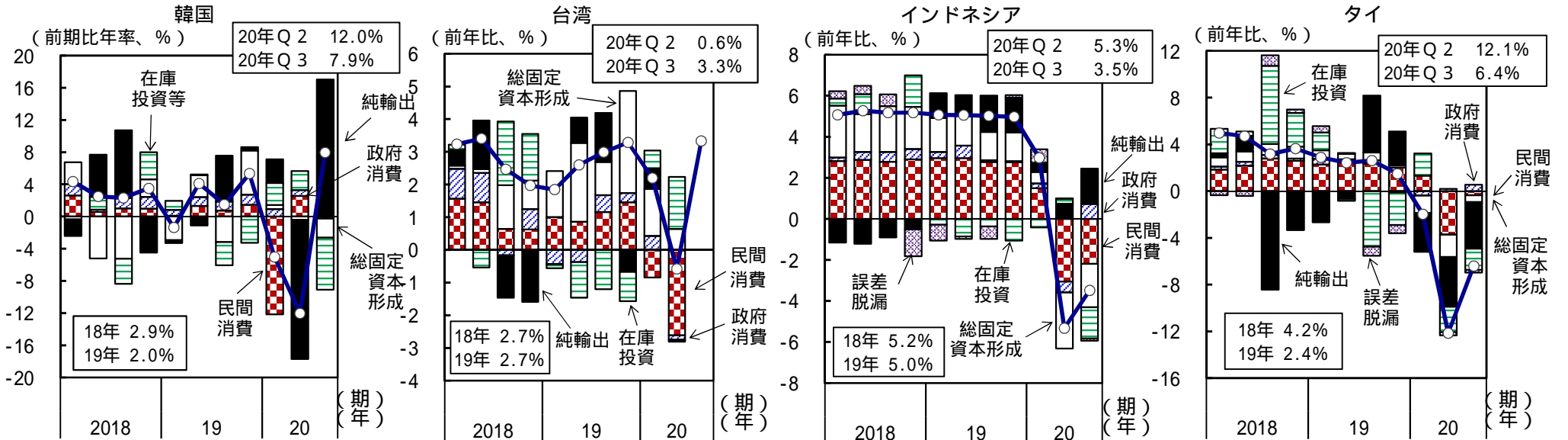


(備考) 15年8月11日-13日、中国人民銀行は人民元取引基準値を前日比 4.5% 引下げ。元安誘導を実施。

その他アジア（韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド）：

韓国では、景気は厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気は持ち直している。インドネシアでは、景気は厳しい状況にある。タイでは、景気は厳しい状況にあるが、下げ止まっている。インドでは、景気は極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。

実質GDP成長率



(備考) 年度は、4月～翌年3月。

(備考) インドネシア、タイは製造業生産。

(備考) インドの数量は未公表。

(備考) ドルベース。